

次世代に残すべきものを守りつつ 経営者として精一杯務める

昨年、昭和十九年六月二十六日の創立から七〇周年を迎えた松栄商事。時代の変遷と共にメーカーから不動産管理事業へと姿を変え、現在は緑ヶ丘カンツリークラブを根幹事業としつつグループ展開している。同社の阿部博代表に、将来を見据えた話を聞いた。

(聞き手) 中部財界フォーラム社代表取締役塚本隆

——平成二十六年は松栄商事にとつて七〇周年という節目の年でしたが、どのような一年になりましたか。

阿部 松栄商事が七〇周年をむかえるにあたり、昨年三月に名古屋ブルーノートを貸し切り、記念ライブを行いました。第一部は私が参加するアマチュアバンド「ローガンス」のライブです。第二部は縁あって知人でもあるバン

ド「チェリッシュ」が駆けつけ、歌を披露してくれました。

仕事でお世話になった方や親しい方を招待し、内心では私自身のお別れ会を兼ねるつもりで行いました。

最終結果として今の不動産管理会社を残すことができた大きな改革から数えても一〇年にあたります。その意味でも、有意義な年だったと思います。

——松栄商事の根幹事業である緑ヶ丘カンツリークラブとは、どのようなゴルフクラブでしょうか。その特長などを教えてください。

阿部 緑ヶ丘カンツリークラブは昭和三十四年に開場しており、今年で五六周年になります。四日市カンツリー倶楽部や岐阜関カンツリー倶楽部をはじめとする数々の名門クラブを手掛けた上田治氏による設計です。丘陵地を造成したコースのため、打ち下ろしのホールがあり、そこからミッドランドスクエアをはじめとした名古屋駅前の高層ビル群が見下ろせます。眼下に雄大な眺めが広がる、非常に雰囲気の良いコースです。

——施設についてはいかがですか。

阿部 平成元年にできたクラブハウスは竹中工務店施工で丈夫な躯体ながら、外観はやや老朽化しており、その手直しが課題です。他方、六年前にロッカールームをリニューアルしており、最近主流の大きなゴルフバッグに対応したのは好評です。また、女性会員が多いことから女性のお風呂も新しくしており、練習場にも屋根をつけたことで利用者が増えています。

——緑ヶ丘カンツリークラブは会員制ですが、会員の方々の雰囲気は。
阿部 メンバーの仲が良く、仲